



元気いっぱい やる気いっぱい 笑顔いっぱい

# せのうえ

瀬上小学校だより

令和7年1月8日(水)  
第19号(地域回覧版)  
文責:校長 高橋哲也

第3学期がスタートしました。

15日間の冬休み、ご家庭での年末年始は、いかがでしたでしょうか？

私たち教職員も気持ちを新たに、本日から、また、子どもたちに寄り添い、ともにがんばっていきたくと思っています。

第3学期、そして、令和7年も、どうぞよろしくお願いいたします。

## “子どもに寄り添う”ことの大切さ

3学期のスタートにあたり、全教職員で“子どもに寄り添う”ことの意味を再確認しました。

今回の学校だよりも、また、以前のおたよりでも“子どもたちに寄り添う”という言葉をよく使ってきました。

ですが、私たちは本当に一人一人の子どもに寄り添えていたのでしょうか？

悩んだり、困ったり、悲しんだりする子どもの姿を目にするたびに、そんな思いが頭に浮かんでいました。

この3学期は、当たり前のことですが、まずは子どもの話をしっかりと聞き、子どもの気持ち、子どもの考え方を十分に理解することを何よりも大切にしていきます。

そんなかわりをおして、本当の意味で“子どもに寄り添う教師”“子どもに寄り添う学校”になることを目指します。

保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 自分に“100点満点”をつけられる3学期にしよう！

本日の始業式では、子どもたちにこんな話をしました。

“どんな自分になりたいか” そんなめあてをもって生活する一年にしましょう！

めあてづくりのヒントは、去年(2学期)の自分です。

去年の自分に点数をつけるとしたら何点ですか？

100点をつける人は100点になった理由を、

100点ではない人は減点した理由を考えましょう。

その理由が、めあてづくりのよいヒントになるのです。

去年の自分の姿をもとに今年のめあてをつくり、

そのめあてに向かってがんばる一年にしましょう。

そして、まずは3月、3学期が終わるときには、

全員が自分のがんばりに“100点”をつけられる49日間にいきましょう。



私たちも子どもたちと一緒に“自分に100点”がつけられる3学期になるようがんばります！  
49日間の短い期間となりますが、3学期もどうぞよろしくお願いいたします。